

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度

背景・目標

- ✓ デジタル時代の「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の基礎などの必要な力を全ての国民が育み、あらゆる分野で人材が活躍する環境を高等教育段階においても構築する必要がある。
- ✓ 「AI戦略2019」や「デジタル田園都市国家構想総合戦略」における育成目標

主な取組

1. 「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム」による普及・展開活動
2. 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」による各大学等の取組推進

認定制度の概要

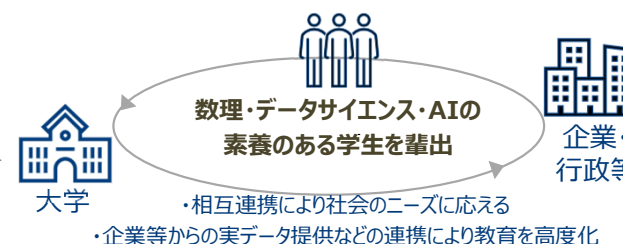


https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/suuri_datascience_ai/00001.htm

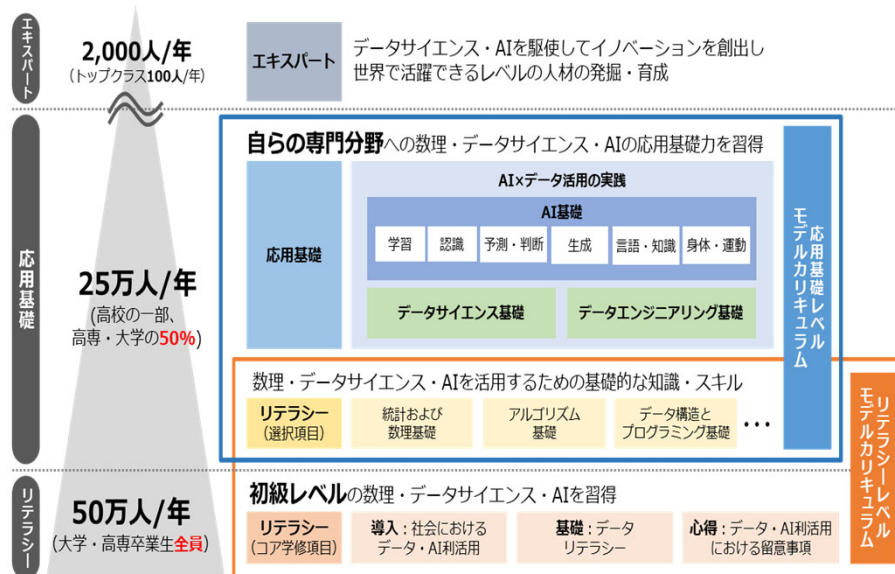
大学・高等専門学校の数理・データサイエンス・AI教育に関する正規課程教育のうち、一定の要件を満たした**優れた教育プログラムを政府が認定**し、教育を推進。
文理を問わず多くの大学・高専が数理・データサイエンス・AI教育を学ぶことができる**教育体制の構築・実施に取り組むことを後押し**！



政府



数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル/応用基礎レベル）の位置づけ



応用基礎レベル (2022年度～)



数理・データサイエンス・AIを活用して
課題を解決するための**実践的な能力**を育成

認定数：243件（2024年8月時点）
 ※1学年あたりの受講可能な学生数：約19万人
 （2025年度目標：25万人/年）

リテラシーレベル (2021年度～)



学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、
適切に理解し活用する**基礎的な能力**を育成

認定数：494件（2024年8月時点）
 ※1学年あたりの受講可能な学生数：約50万人
 （2025年度目標：50万人/年）



数理・データサイエンス・AI
教育強化拠点コンソーシアム

<http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/>

全国の大学等で教育プログラムを展開させるためのコンソーシアム活動を実施

- モデルカリキュラムの策定や教材等の開発・普及
 - 全国9ブロックで好事例などを普及・展開するためのシンポジウムやワークショップを開催
- 等